

ベゾフ空間の演習問題

澤野嘉宏

この記事の目的 拙著ベゾフ空間の教科書で関連する練習問題を列挙する．記号は指示がない限り，拙著「ベゾフ空間論」に準拠する．

問題 1. ファトウの性質を用いて，以下に与える関数空間 X は p, q, s をどのように選んでも A_{pq}^s とは同型にはならないことを示せ．

- (1) $X = L^1$
- (2) $X = BC$
- (3) $X = BUC$

【出題日】2011年4月11日

問題 2. $f, g \in L^2$ とするとき， $f * g \in B_{\infty 1}^0$ であることを示せ．

【出題日】2011年4月11日

この練習問題はロシアでは1950年前後で知られていたらしいですが，出典は忘れまして．

問題 3. $0 < p, q \leq \infty, s \in \mathbb{R}$ とする．ウエーブレット分解を用いて， A_{pq}^s が可分であるための必要十分条件は $p + q = \infty$ であることを示せ．

【出題日】2011年4月11日

問題 4.

- (1) 複素数列 $\{C_N\}_{N=1}^{\infty}$ を適当に選んで， S' の位相で，

$$\lim_{N \rightarrow \infty} \left(C_N + \sum_{k=-N}^N \exp(2^k \pi i) \right)$$

が収束するようにせよ．

- (2) 1次関数の列 $\{P_N\}_{N=1}^{\infty}$ を適当に選んで， S' の位相で，

$$\lim_{N \rightarrow \infty} \left(P_N + \sum_{k=-N}^N 2^{-k} \exp(2^k \pi i) \right)$$

が収束するようにせよ．

【出題日】2011年4月11日

問題 5. $A_{pq}^{s+} = \bigcup_{\varepsilon > 0} A_{pq}^{s+\varepsilon}$ と定める．

- (1) A_{pq}^{s+} は線形空間であることを示せ．
- (2) $A_{pq}^{s+} = \bigcup_{\varepsilon > 0, 0 < r \leq \infty} A_{pr}^{s+\varepsilon}$ を示せ．
- (3) $A_{pq}^{s+} \subsetneq A_{pq}^s$ を示せ．

【出題日】2011年4月12日

問題 6 (リゾルキン (Lizorkin)).

(1) $1 < p < \infty$ とする. 以下の場合

- (a) $p = 2$
 (b) $2 < p < \infty$
 (c) $1 < p < 2$
 に分けて,

$$\begin{aligned} \|\mathcal{F}^{-1}[\chi_{B(1)}\mathcal{F}f_j]\|_p + \left\| \left(\sum_{j=1}^{\infty} |\mathcal{F}^{-1}[\chi_{B(2^j)\setminus B(2^{j-1})}\mathcal{F}f_j]|^2 \right)^{\frac{1}{2}} \right\|_p \\ \lesssim \|\psi(D)f_j\|_p + \left\| \left(\sum_{j=1}^{\infty} |\varphi_j(D)f_j|^2 \right)^{\frac{1}{2}} \right\|_p \end{aligned}$$

を示せ.

(2) F_{p2}^s , $1 < p < \infty$, $s \in \mathbb{R}$ のノルムは次のノルム

$$\|\mathcal{F}^{-1}[\chi_{B(1)}\mathcal{F}f]\|_p + \left\| \left(\sum_{j=1}^{\infty} |\mathcal{F}^{-1}[\chi_{B(2^j)\setminus B(2^{j-1})}\mathcal{F}f]|^2 \right)^{\frac{1}{2}} \right\|_p.$$

と同値になることを示せ.

【出題日】2011年4月13日

問題 7. f を正値可測関数とする. 分数べき積分作用素 I_α を

$$(0.1) \quad I_\alpha f(x) := \int_{\mathbb{R}^n} \frac{f(y)}{|x-y|^{n-\alpha}} dy$$

で定義する. ここで, $0 < \alpha < n$ である.

(1) 関係式

$$(0.2) \quad \int_0^\infty \chi_{B(x,l)}(y) \frac{dl}{l^{n+1-\alpha}} = \frac{|x-y|^{-n+\alpha}}{n-\alpha}$$

を示せ.

(2) 関係式

$$(0.3) \quad I_\alpha f(x) = (n-\alpha) \int_0^\infty \left(\frac{1}{l^{n+1-\alpha}} \int_{B(x,l)} f(y) dy \right) dl.$$

を示せ.

(3) 関数 $m_k(\xi) = \xi_k |\xi|^{-2}$, $k = 1, 2, \dots, n$ のフーリエ逆変換に関して, $|\mathcal{F}^{-1}m_k(x)| \lesssim |x|^{-n+1}$ を示せ.

(4) $f \in \mathcal{D}$ に対して,

$$|f(x)| \lesssim I_1[|\nabla f|](x)$$

を示せ.

(5) $\dot{L}^{1,2}$ で, \mathcal{D} のディリクレノルム

$$\|\nabla f\|_{\mathcal{D}}$$

による完備化を表す. $n \geq 3$ のときに, $\dot{L}^{1,2} \hookrightarrow L^{n/(n-2)}$ を示せ.

(6) $n \geq 3$ のとき, $\dot{L}^{1,2} \sim \dot{F}_{22}^1$ を示せ.

【出題日】2011年4月13日

問題 8. ベキ乗極大作用素 $M^{(\eta)}$ を

$$(0.4) \quad M^{(\eta)} f(x) := [M[|f|^\eta](x)]^{\frac{1}{\eta}}, \quad \eta > 0$$

で定める. $0 < p, q \leq \infty, s \in \mathbb{R}, f \in \mathcal{S}'$ とする. ψ, φ_j はベゾフ空間などを定義するときに使う ψ, φ_j と同じコンパクト台を持つ C^∞ 級関数とする.

(1) 次の準ノルムは元々のベゾフノルム B_{pq}^s と同値であることを示せ.

$$(0.5) \quad \left\| \sup_{z \in \mathbb{R}^n} \langle z \rangle^{-\frac{n}{\eta}} |\psi(D)f(x-z)| \right\|_p + \left\| 2^{js} \sup_{z \in \mathbb{R}^n} \langle z \rangle^{-\frac{n}{\eta}} |\varphi_j(D)f(x-z)| \right\|_{\ell^q(L^p)}.$$

(2) さらに, $p < \infty$ とする. 次の準ノルムは元々のトリール・リゾルキンノルム F_{pq}^s と同値であることを示せ.

$$(0.6) \quad \left\| \sup_{z \in \mathbb{R}^n} \langle z \rangle^{-\frac{n}{\eta}} |\psi(D)f(x-z)| \right\|_p + \left\| 2^{js} \sup_{z \in \mathbb{R}^n} \langle z \rangle^{-\frac{n}{\eta}} |\varphi_j(D)f(x-z)| \right\|_{L^p(\ell^q)}.$$

【出題日】2011年4月14日

問題 9. $0 < p < 1$ とする. $q = \frac{p}{p-1}$ とする. $f, g: \mathbb{R}^n \rightarrow [0, \infty]$ を可測関数とする.

$$(1) \|fg\|_1 \geq \|f\|_p \left(\int_{\mathbb{R}^n} g(x)^q dx \right)^{1/q} \text{ を示せ.}$$

$$(2) \|f+g\|_p \geq \|f\|_p + \|g\|_p \text{ を示せ.}$$

【出題日】2011年4月14日

問題 10. $-\Delta$ を $L^2(\mathbb{R}^n)$ の非有界正值自己共役作用素とみなして, $-\Delta = \int_0^\infty \lambda dE_\lambda$ とスペクトル分解する. $\{E_\lambda\}_{\lambda \geq 0}$ と $\varphi_j(D)$ との関係を見いだせ.

【出題日】2011年5月5日

問題 11. $f(x) = e^x \sin(e^x)$ を $\mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ の関数としてみなす.

$$(1) f \in \mathcal{S}' \text{ であることを示せ.}$$

$$(2) f \in B_{\infty\infty}^{-1} \text{ であることを示せ.}$$

【出題日】2011年5月12日

問題 12. $\psi \in C_c^\infty(\mathbb{R}^n)$ とする. $\log|x| \in \text{bmo}, \psi(x) \log|x| \in \text{bmo}$ を示せ.

【出題日】2011年6月3日

問題 13. $0 < p, q \leq \infty, s \in \mathbb{R}$ とする. また, $\psi \in C_c^\infty(\mathbb{R}^n)$ は0ではない正值関数とする. $A_{pq, \text{unif}}^s$ を

$$\|f\|_{A_{pq, \text{unif}}^s} = \sup_{y \in \mathbb{R}^n} \|f \cdot \psi(\cdot - y)\|_{A_{pq}^s}$$

で定める. このとき, $A_{pq, \text{unif}}^s$ は ψ のとり方によらないことを示せ.

【出題日】2011年6月3日

問題 14. $f \in \mathcal{S}'$ について, 以下が同値であることを示せ.

- (1) $f = \sum_{j=-\infty}^{\infty} \varphi_j(D)f$ が S' の位相に関して成り立ち, $[f] \in \dot{F}_{\infty 2}^{-1}$ である .
- (2) $g \in \text{BMO}$ が存在して, $f = \sqrt{-\Delta}g$ となる .
- (3) $g_1, g_2, \dots, g_n \in \text{BMO}$ が存在して, $f = \sum_{j=1}^n \partial_j g_j$ となる .
- (4) $F(x, t) = e^{t\Delta}f(x)$ とおくと, $F \in F_T^1$ である . つまり,

$$\sup_{0 < t < T} \sup_{x_0 \in \mathbb{R}^n} \frac{1}{t^{\frac{n}{2}}} \int_0^t \int_{|x-x_0| < \sqrt{t}} |e^{s\Delta}f(x)|^2 dx ds$$

ただし, 一般に

$$\|f\|_{F_T^\sigma} = \sup_{0 < t < T} \sup_{x_0 \in \mathbb{R}^n} \frac{1}{t^{n+1}} \int_0^t \int_{|x-x_0| < t} |f(t, x)|^2 \left(\frac{s}{t}\right)^\sigma dx ds$$

と定める .

【出題日】2011年6月3日

問題 15. $0 < p, r < \infty$ と $L \in \mathbb{N}_0$ を固定する . $f \in H^p$, $0 < p < \infty$ とする . このとき, 次の条件

- (1) $a_j \in L^\infty$
 (2) $\text{supp}(a_j) \subset Q_j$
 (3) $f = \sum_{j=1}^{\infty} a_j$
 (4) $\left\{ \sum_{j=1}^{\infty} (\|a_j\|_{L^\infty} \chi_{Q_j}(x))^r \right\}^{1/r} \lesssim \mathcal{M}f(x)$

を満たす $\{a_j\}_{j=1}^{\infty} \subset L^\infty$ と立方体の列 $\{Q_j\}_{j=1}^{\infty}$ が存在することを示せ .

【出題日】2011年9月30日

問題 16. $0 < p, q < \infty$, $s \in \mathbb{R}$ とする . アトム分解の定理 5 . 1 . 6 において

$$\sum_{\nu=0}^{\infty} \sum_{m \in \mathbb{Z}^n} \lambda_{\nu m} m_{\nu m}$$

は A_{pq}^s の位相で収束することを示せ .

【出題日】2011年9月30日

問題 17. $0 < p, q < \infty$, $s \in \mathbb{R}$ とする . アトム分解の定理 5 . 1 . 6 において

$$\sum_{\nu=0}^{\infty} \sum_{m \in \mathbb{Z}^n} \lambda_{\nu m} m_{\nu m}$$

は A_{pq}^s の位相で収束することを示せ .

【出題日】2011年9月30日

問題 18. アトムの定義において, $\text{supp}(a) \subset 3Q$ を $\kappa > 1$ として, $\text{supp}(a) \subset \kappa Q$ に置き換えてもよいことを示せ .

【出題日】2011年9月30日

問題 19. $H^1(\mathbb{R}^d) \leftrightarrow L^q(\mathbb{R}^d)$ が成り立ってもコンパクトにはならないことを示せ【ヒント】平行移動を考える.

【出題日】2011年9月30日

問題 20. $0 < p_0, q_0, p_1, q_1 < \infty, s_0, s_1 \in \mathbb{R}$ とする. ウェーブレット分解と拡張作用素を用いて, $B_{p_0 q_0}^{s_0}(B(1)) \subset B_{p_1 q_1}^{s_1}(B(1))$ がコンパクトであるための必要十分条件は $s_0 - s_1 > n(1/p_0 - 1/p_1)_+$ であることを示せ.

【出題日】2011年9月30日

問題 21. $0 < p_1 < p_0 < \infty, 0 < q \leq \infty, s \in \mathbb{R}, \Omega$ が有界領域のとき, 定理 5.3.6 を用いて, $B_{p_0 q}^s(\Omega) \subset B_{p_1 q}^s(\Omega)$ を示せ.

【出題日】2011年9月30日

問題 22. $0 < p, q \leq \infty, s, \alpha \in \mathbb{R}$ とする. B_{pq}^s を定義したときの ψ, φ を用いて,

$$\|f\|_{B_{pq}^{(s,\alpha)}} = \|\psi(D)f\|_p + \left\{ \sum_{j=1}^{\infty} (2^{js}(j+1)^{-\alpha} \|\varphi_j(D)f\|_p)^q \right\}^{1/q}$$

とおく. ψ, φ の取り方によらずに, 関数空間 $B_{pq}^{(s,\alpha)}$ が定まることを示せ.

【出題日】2011年9月30日

問題 23. $j \in \mathbb{Z}^n$ と連続関数 $f \in C$ に対して, $a_j = \frac{1}{(2\pi i)^n} \int_{[0, 2\pi)^n} f(y) e^{ijy} dy$ とおく.

- (1) $|a_j| \leq \|f\|_{BC}$ を示せ.
- (2) $|a_j| \lesssim (1 + |j|)^{-m} \|f\|_{B^m}$ を示せ.
- (3) $\theta \geq 0$ とする. $|a_j| \lesssim (1 + |j|)^{-\theta} \|f\|_{B_{\infty\infty}^\theta}$ を示せ.
- (4) $\sum_{j \in \mathbb{Z}^n} |a_j|^2 < \infty$ を用いて, f が次の連続性

$$\|f\|_{\text{Lip}(\theta)} = \sup_{x \neq y} \frac{|f(x) - f(y)|}{|x - y|^\theta}$$

を満たしているときに, $\sum_{j=-\infty}^{\infty} a_j e^{ijx}$ が一様収束することを示せ.

【出題日】2011年10月15日

問題 24. $x \in \mathbb{R}^n$ と $\nu \in \mathbb{Z}$ に対して, $m(x)$ で, $x \in Q_{\nu m}$ となる唯一の $m \in \mathbb{Z}^n$ を表すこととする. このとき, $f \in L_{\text{loc}}^1(\mathbb{R}^n)$ に対して,

$$\lim_{\nu \rightarrow \infty} \frac{1}{|Q_{\nu m(x)}|} \int_{Q_{\nu m(x)}} |f(x) - f(y)| dy = 0$$

を示せ.

【出題日】2011年12月1日

問題 25. $k \in C_c^\infty(B(1))$ が $\int_{\mathbb{R}^n} k(x) dx = 1$ を満たしているとする. $f \in L^p$ とする.

- (1) $1 \leq p < \infty$ ならば, ほとんどいたるところ, $f * k_\varepsilon \rightarrow f$ を示せ.

(2) $p = \infty$ のときも $f * k_\varepsilon \rightarrow f$ を示せ .

【出題日】2011年12月1日

問題 26 (ヘルムホルツ射影).

- (1) $S_0(\mathbb{R}^n) \subset L^p(\mathbb{R}^n)$ が稠密であることを示せ .
 (2) 与えられた $u \in S_0(\mathbb{R}^n)^n$ に対して, ある $\pi \in S_0(\mathbb{R}^n)$ が一意に存在して, $\Delta\pi = \nabla \cdot u$ が成り立つことを示せ .
 (3) $u \in S_0(\mathbb{R}^n)^n$ に対して, $\text{Pr}u$ を

$$\text{Pr}u = u - \nabla\pi$$

で与える . ただし, $\pi \in S_0(\mathbb{R}^n)$ は $\Delta\pi = \nabla \cdot u$ を満たす . このとき, ある定数 C が存在して,

$$\|\text{Pr}u\|_{L^p(\mathbb{R}^n)^n} \leq C\|u\|_{L^p(\mathbb{R}^n)^n}$$

が成り立つことを示せ .

【出題日】2011年12月11日

問題 27. $j = 1, 2, \dots, n$ とする .

- (1) $f \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n)$ のとき, $\int_{\mathbb{R}^n} \partial_j f(x) dx = 0$ を示せ .
 (2) $f \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n)$ で, g を緩増加関数とすると, $\int_{\mathbb{R}^n} g(x) \partial_j f(x) dx = - \int_{\mathbb{R}^n} f(x) \partial_j g(x) dx$ を示せ .

【出題日】2011年12月15日

問題 28. $m, n \in \mathbb{N}$ とする . $f \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^{n+m})$ とするとき,

$$g(x) = \int_{\mathbb{R}^m} f(x, y) dy \quad (x \in \mathbb{R}^n)$$

で $g: \mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{C}$ を定めると, $g \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n)$ であることを示せ .

【出題日】2011年12月15日

問題 29. $f \in L^1_{\text{loc}}(\mathbb{R}^n)$ $\lambda > 0$ とするとき,

$$\{Mf > \lambda\} = \{M[f\chi_{\{Mf > \lambda\}}] > \lambda\}$$

を示せ .

【出題日】2011年12月27日

問題 30.

- (1) $C^\infty(\mathbb{R}^n)$ に距離

$$d(f, g) = \sum_{N=1}^{\infty} \sum_{\alpha \in \mathbb{N}_0^n} \frac{Z_{\alpha, N}(f, g)}{1 + 2^{N+|\alpha|} Z_{\alpha, N}(f, g)}$$

を入れると完備になることを示せ . ここで,

$$Z_{\alpha, N}(f, g) = \sup_{|x| \leq N} |\partial^\alpha (f - g)(x)|.$$

- (2) $\varphi \in C_c^\infty(\mathbb{R}^n)$ とする . $\psi \in C^\infty(\mathbb{R}^n) \mapsto \psi\varphi \in C_c^\infty(\mathbb{R}^n)$ は連続であることを示せ .

【出題日】2012年1月13日

問題 31. $C_c^\infty(\Omega)$ の位相はすべての $K \in \mathcal{K}(\Omega)$ に対して包含写像 $C_c^\infty(K; \Omega) \subset C_c^\infty(\Omega)$ が連続になるような局所凸位相のうち最弱のものとする. 特に, $C_c^\infty(\Omega)$ の位相をも考える場合は $\mathcal{D}(\Omega)$ と記すことにする.

さて, $\mathcal{D}(\Omega)$ において,

$$\left\{ f \in C_c^\infty(K; \Omega) : \sup_{|x| \leq N} |\partial^\alpha (f - g)(x)| < r \right\}$$

$$(r > 0, N \in \mathbb{N}, \alpha \in \mathbb{N}_0^n, g \in C_c^\infty(K; \Omega), K \in \mathcal{K}(\Omega))$$

は位相の生成系であることを示せ.

【出題日】2012年1月13日

問題 32. $x, y \in \mathbb{R}^n$ に対して, $|x| + |y| \leq (1 + |x|)(1 + |y|)$ を示せ.

【出題日】2012年1月20日

問題 33. $f \in \mathcal{S}'$, $g \in \mathcal{S}$ とする. f がコンパクト台を持つならば, $g * f \in \mathcal{S}$ を示せ.

【出題日】2012年1月20日